

松平地区 ウォーキングコース

松平町・林添町
大内町・豊松町

全長10km

松平の郷コース



松平東照宮 (起点) → 2.7km → 神明社 → 2.3km → 歌石園地 駐車場 → 2.0km → 豊松小学校 → 3.0km → 松平東照宮 (終点)

見どころ

●松平東照宮
現存する水濠や石垣は、松平太郎左衛門九代尚栄によって関ヶ原の合戦のあと築かれました。はじめは、八幡宮と称して松平家の屋敷神でした。元和5年(1619)家康を合祀し、昭和40年に親氏を合祀しました。境内には資料館である松平郷館、松平家が代々産湯に用いた産湯の井戸があります。4月には春祭り、2月には裸まつりがあり見ごたえがあります。(トイレ、駐車場あり)
【松平郷館 10:00~15:00 水曜・年末年始休館日 入場無料】

●高月院
貞治6年(1367)足助次郎重政(寛立上人)が松平郷主在原信重の庇護を受けて「寂靜寺」として建立したとされています。その後、親氏が本尊阿彌陀仏をはじめ、堂・塔のすべてを寄進してから「高月院」と改め、松平氏の菩提寺となっています。山門や本堂は、寛永18年(1641)に徳川家光によって建てられたものと言われています。

●王滝溪谷
巴川の支流である仁王川の溪谷部のことです。5ヶ所の園地、2つの吊り橋、王滝湖にかかる全長90mの王滝湖かけ橋などがあります。溪流とともに春は梅や椿、夏の緑、秋には紅葉と四季の変化の美しさを楽しむことができます。(トイレ、駐車場あり)

ウォーキングの注意

- 長い距離・時間を歩くときは水分補給を忘れずに。
- 無理せず自分の体調に合わせて歩きましょう。
- ゴミはお持ち帰りください。
- 住宅の近くでは静かに歩きましょう。

